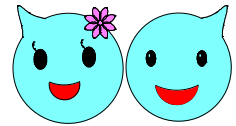




下水道公社だより

2012年春季号（第39号）



目次	理事長ご挨拶 公益財団法人への移行について 公社定期人事異動について
----	--

理事長ご挨拶

公益財団法人 福島県下水道公社 理事長 小柳 秀一



下水道は、私たちの生活を快適にし、健康で文化的な社会をつくり、また、川や海などの水環境を守るため

の重要な施設であり、地球環境の保全に大きく貢献しております。

福島県下水道公社は県並びに関係市町村の出捐により、財団法人として昭和63年4月に設立されて以来、下水道に関する各種事業を誠心誠意実施して参りましたが、この度、福島県知事から公益財団法人としての認定を受け、4月1日より、新たに「公益財団法人福島県下水道公社」として

発足いたしました。

公益財団法人移行後につきましても、下水道知識の普及啓発、下水道施設の維持管理の支援に関する事業を行い、県民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全に寄与することにより、公衆衛生の向上と環境保全を図るという目的を果たして参ります。

いま、県内の下水道事業は、東日本大震災で被災した施設の復旧工事や、下水汚泥の放射能問題など、多くの課題を抱えておりますが、当公社は、二十有余年にわたり培ってきた下水道に関する技術力とノウハウを活かし、一日も早い県土復興のため、全力で市町村や県の皆様のお役に立てる事業を積極的に展開して参りますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人への移行についてのお知らせ

福島県下水道公社は、福島県知事から公益財団法人としての認定を受け、4月1日より、新たに「公益財団法人福島県下水道公社」として発足しました。

公益財団法人福島県下水道公社が行う事業

1. 下水道の普及促進及びその支援に関する事業
2. 下水道施設の維持管理の支援に関する事業
3. 下水道技術の維持・発展に関する事業
4. 下水道工事に関する設計積算等の受託に関する事業
5. 下水道に関する水質分析の受託に関する事業
6. その他公益事業の推進に資するための事業



私たちは、下水道に関する専門的な知識と能力を持ち、広い視野で効率的に業務を担い、だれよりも・だれからも信頼される下水道公社であることを目指します。

公社定期人事異動について

平成24年度下水道公社定期人事異動(4月1日付)があり、次の方々が新たに着任いたしました。

【 本 社 】

総務部長(兼)総務課長 白 井 一 章 (前: 県中地方振興局 県税部主幹)



この度の人事異動によりまして、当公社総務部勤務となりました白井です。

何分、公社勤務が初めてでありますし、下水道関係の業務を担当することも初め

の経験であり、見るもの聞くものがすべて新鮮であるといった状況ですが、幸い社内には業務に精通した職員がそろっておりますので、安心して仕事をしております。

当公社は昭和63年の発足以来、県民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与することにより公衆衛生の向上と環境の保全を図ることを目的として、県が設置する流域下

水道施設の維持管理、下水道知識の普及啓発、市町村下水道事業の振興等に取り組んできておりますが、この4月1日からは新たに「公益財団法人」に移行し公益目的事業を主たる目的として事業を推進しております。

総務部としても、公益認定の主な指標である公益目的事業比率、公益目的事業の収支相償、遊休財産保有率等をクリアできるように公社事業全体を管理していくとともに、公益法人会計基準(平成20年基準)に基づく会計制度への移行やその他移行関連の業務を円滑かつ的確に進めて参ります。

いまなお、東日本大震災や原子力災害の影響は大きく、下水汚泥の放射能問題など当公社を取り巻く環境は極めて厳しいものがありますが、市町村や県の皆様と連携を密にしながら、公社の設立目的のために総務の立場から貢献して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【 本 社 計 画 設 計 課 】

業務部参事(兼)計画設計課長 遠 藤 洋 一 (前: 県北流域下水道建設事務所 次長)

4月の定期人事異動で、県の県北流域下水道建設事務所から赴任致しました遠藤洋一です。どうぞよろしく願い致します。

私は、前任地では、対外折衝、特に、放射性物質の混入した下水汚泥の県北浄化センターへの一時保管と搬出に関して、地域住民や搬出業者、関係自治体、国などとの連絡調整を担いました。地域の方とは特に頻繁に情報交換を行い、何とか御理解を得ようと奔走しましたが、結局、搬出には至らず、地元の不満を残したままの転勤と成らざるを得ませんでした。一刻も早い場外搬出のために、当公社の業務を通して、少しでも資することが出来ればと思っております。

さて、当公社へ着任して早3週間となりましたが、公社の熱気には素晴らしいものを感じております。皆さんのやる気がヒシヒシと伝わって来ており、私も、持てる力を最大限に発揮して、その思いに応えなければならないと感じております。新しいポジションでの職責を果たすことは当然ですが、皆さんの勤勉な姿勢、素直な姿勢に責任を痛感し、やはり、



下水道公社プラン2010(中期経営計画)の実現に向け、皆様と一体になって業務に取り組む所存であります。

そのためには、既成概念にとらわれず、根拠を

確認しながら、発想豊かに、見直しをしながら、業務を進める必要があります。情勢は刻一刻変化しており、企業によっては「3年先の見通しはできない、2年先の計画を作るのが精一杯。」ということも聞いたことがあります。

変化を恐れず、前向きに、明るく元気で楽しく仕事をしていきたいと思っておりますので、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

【 その他の異動 】

あだたら清流センター 技師 坂本 和也 (新規採用)

公益財団法人 福島県下水道公社 ※平成24年4月1日より、公益財団法人に移行いたしました。

〒960-8041 福島市大町5番6号 日本生命福島ビル2F

TEL 024-524-3510(代)

FAX 024-524-3513

Homepage:<http://www.fspc.or.jp> E-mail:somu@fspc.or.jp

※本誌の発行については、総務部総務課までお問い合わせください。



ふくしまからはじめよう。